

規 格

新規に制定・改正されたISO・JISをご紹介します。

- ISO 4892-2:2013 Plastics -- Methods of exposure to laboratory light sources -- Part 2: Xenon-arc lamps 改正 (プラスチック試験所光源への暴露方法-第2部:キセノンアーク光源)

材料を実際の使用環境で昼光又は窓ガラス越しの昼光に暴露したときに生じる現象を再現するために、試験片を、水分の存在下で、キセノンアークランプで暴露する方法について規定。

- ISO 105-B02:2013 Textiles -- Tests for colour fastness -- Part B02: Colour fastness to artificial light: Xenon arc fading lamp test 改正 (繊維-染色堅ろう度試験-第B02部:人工照明に対する染色堅ろう度:キセノンアーク灯試験)

染色した繊維製品のキセノンアーク灯光に対する染色堅ろう度試験について規定。メソッド2は、試料が光源の周りを回転しない試料固定台の試験機はISO/TC38/SC1でのラウンドロビンテストが終了しないと使用できない。

- ISO 11130:2010 Corrosion of metals and alloys-Alternate immersion test in salt solution 改正 (金属及び合金の腐食-塩水における交互浸せき試験)

塩水を用いた交互浸せき試験による金属の耐腐食性の評価方法の規格で、試験液の化学成分によっては、海洋飛沫帯、融氷液及び酸塩環境の腐食効果を再現する試験にも用いることが出来る。装置例として、当社の浸漬乾湿複合サイクル試験機(DW-UD3)の図が例示されている。

- JIS C 61300-2-26:2013 光ファイバ接続デバイス及び光受動部品-基本試験及び測定手順-第2-26部:塩水噴霧試験 制定

塩水噴霧に対する光ファイバ接続デバイス及び光受動部品を構成する金属の耐食性、及び異なる金属間の腐食防止処理が十分であるかを評価する試験手順について規定。JIS C 60068-2-11「環境試験方法(電気・電子) 塩水噴霧試験方法」に基づき、35℃の試験槽内で塩水噴霧を行う。

文 献

- アルミニウム表面処理の試験方法及び試験装置

大野雄一郎 アルトピア (VOL.43 NO.4 APR.2013)

表面処理を施したアルミニウム製品は、軽量で加工性が良いという特徴から様々な用途に用いられている。アルミニウム表面処理の耐候性、耐腐食性、耐摩耗性及び外観の評価に用いられる当社の試験装置を紹介。

(スガ試験機(株) 日高・川越工場 製造部)

■腐食関連

- 塗装系の劣化挙動追跡と影響要因の検討

太田 達夫¹ 奥村 美明¹ 植木 光彦² 廣部 寿和² 西條 康彦 防錆管理 (Vol.57, No.5, 2013)

塗装鋼板の防食性評価に当社製複合サイクル試験機を用いて、JASOサイクルモード(JASO M609-91) 651サイクル試験、及び本田技研工業(株) CCTモード(1サイクル:24時間、湿潤率67%) 100サイクル試験を実施し、劣化挙動追跡を行い、影響要因の考察を作った。

(著者所属: 1 日本ペイント(株) 2 (株) 本田技術研究所)

■その他

- Two-body abrasive wear behaviour of aluminium alloy-sillimanite particle reinforced composite M.Singh*, D.P.Mondal, O.P.Modi, A.K.Jha (Wear 253 (2002) 357-368)

アルミニウムの耐摩耗性評価に当社スガ摩耗試験機NUS-ISO3を用いて試験。